

平成 29 年度 新潟県立十日町高等学校 シラバス

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
公民	倫理	普通科 3年	2
教科書	[主たる教材] 高等学校 新倫理 最新版 (清水書院)		
副教材等	[副教材] 最新図説 倫理 (浜島書店)		

1 科目の目標

人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2 科目の内容

- (1)現代に生きる自己の課題
- (2) 人間としての在り方生き方
- (3)現代と倫理

3 授業計画

月	内 容	配当 時間	指導上の留意点
4月	第1編 現代に生きる自己の課題 第1章 人間とは何か 第2章 青年期の課題と自己形成 第2編 人間としての自覚と生き方 第1章 人生における哲学 第2章 人生における宗教 第1節 キリスト教—愛の宗教 第2節 イスラーム—啓示戒律の宗教 第3節 仏教—智慧と慈悲の宗教 第3章 人生の知恵 第4章 人生における芸術	○1学期中間考査	・グループ学習を取り入れ、他者と共に学び合う機会を設定する。 ・レポートを作成し、既習事項を整理し、掘り下げることで学びを深化させていく。
7月	第5編 現代の諸課題と倫理 第1章 生命と倫理 第2章 環境と倫理 第3章 現代の家族とその課題 第4章 地域社会の変容と共生 第5章 情報社会とその課題 第6章 グローバル化の時代と倫理 第7章 人類の福祉と国際平和	○1学期期末考査	・原典を活用し、思想家の考えに直接触れ、読み取る力をはぐくむ。
		25	

8月	第3編 現代社会と倫理 第1章 現代の倫理的課題 第2章 現代に生きる人間の倫理 第1節 人間の尊厳 第2節 自然や科学技術と人間とのかかわり 第3節 民主社会における人間のあり方 第4節 自己実現と幸福 第5節 個人と社会のかかわり 第6節 現代における理性の問題 ○2学期中間考査		
12月	第4編 国際社会に生きる日本人の自覚 第1章 日本の風土と外来思想の受容 第1節 日本の風土と伝統 第2節 仏教の伝来と隆盛 第3節 儒教の日本化 第4節 日本文化と国学 第5節 近世庶民の思想 第6節 西洋近代思想の受容 第2章 現代の日本と日本人としての自覚 ○2学期期末考査	35	
12月 3月	テーマ別課題学習	10	

計 70時間 (55分授業)

4 学習評価

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用 of 技能	知識・理解
評価の 観点 ・ 規準	青年期における自己形成について関心を高め、人格の形成と他者と共に生きる主体としての自己の確立に努める実践的意欲をもつとともに、これらに関わる諸課題を探究する態度を身に付けようとしている。	人間の存在や価値などについて多面的・多角的に考察し探究するとともに、良識ある公民として広い視野に立って主体的かつ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	青年期における自己形成や人間としての在り方生き方などに関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択している。	基本的な事柄を他者と共に生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解し、人格形成に生かす知識として身に付けている。
評価 方法	・課題等の提出物の内容 ・定期考査 ・授業への取り組み (グループ学習等)	・課題等の提出物の内容 ・定期考査 ・授業への取り組み (グループ学習等)	・課題等の提出物の内容 ・定期考査	・課題等の提出物の内容 ・定期考査

5 担当教員

公民科教諭

6 担当者からのメッセージ

「倫理」で扱う内容は、社会や人々との関係において、人としての在り方生き方に関わるものがほとんどです。だからこそ、授業をとおして「自分ならどうするか、どう行動するか」ということを意識しながら学習に取り組みましょう。また、「考える」ためには先人の思想を学ぶだけではなく、他者の意見や考えを参考にしたり、自分の意見を他者に理解してもらうことも大切です。他者と共に生きる主体として、一緒に学びを深めていきましょう。

